

姫路センターが稼働

飾磨海運 輸送効率化を推進

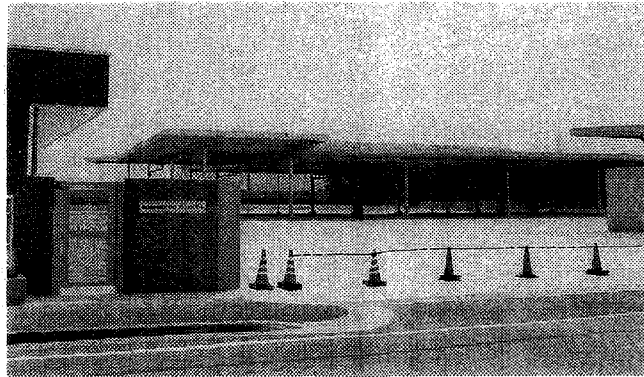
飾磨海運(水田裕一郎社長、兵庫県姫路市)が姫路市内に建設していた物流センターが完成し、12日から稼働した。市内の駐車場を

使用していた車両を全面的に移すとともに、本社ビルにあった陸運部も移転。来

年創立70周年を迎えるのを機に、新拠点でトラック輸

送の一層の効率化を推進していく。6日には取引先や地元自治会関係者を招き、落成記念式典を開いた。

新センターは、敷地面積8600平方メートルで、50両分の車庫を整備。全ての駐車スペースに



屋根を取り付け、積み荷が雨に濡れないようにしている

は屋根を取り付け、積み荷が雨に濡れないようにしている。平屋建ての事務所は床面積165平方メートルで、事務所や会議室のほか点呼室、仮眠室を備える。本社

4階にあった陸運部を全面的に移転し、車両と運行管理の一体化で更なる効率化を進めていく。敷地の奥には床面積2200〜2300平方メートルの倉庫も建設。施設の概要は荷主の要望を聞きながら詰める。

落成式で、水田宏会長は「これまでの駐車場は、トレーラの出入りに時間がかかるなど使い勝手が悪かったが、良い土地を確保することができたのを機に建設した。これからの指導をいただきながら、トラック輸送を頑張っていきたい」と挨拶。

祝賀会では、竣工までの道のりを収録した社員手作りのDVDを披露。水田社長は、1945年3月に飾磨港の港湾運送事業者を集

約統合して発足し、60年から貨物自動車運送事業に進出した経緯を振り返り、「70周年の節目を迎えることもあって、環境のいい場所だ。器に負けることのないよう働く者が任を全うし、安全、正確、迅速、丁寧な物流サービスを提供していきたい」と語った。

(江藤和博)